

今年は銚子川でも実施

海洋ゴム従業員らが清掃奉仕

紀北町中里の海洋ゴムは24日、地域で清掃奉仕活動に取り組んだ。従業員やその家族、仕入れ先事業所の関係者ら287人が参加。事業の拠点となり、生活の場でもある地域の美化に取り組んだ。

三重県が取り組む「三重のふるさと応援カンパニー推進事業」で、地域との連携を模索して

り、今回は、NPO（特定非営利活動）法人ふるさと企画舎と連携し、初めて銚子川周辺の清掃にも取り組んだ。20人が参加。種まき権兵衛の里前の駐車場で開会式があり、同法人の田上至理事長が、交流人口の増加の大きな柱として銚子川があるとし、より多くの人に来てもらうために「銚子川を日本一の川にした

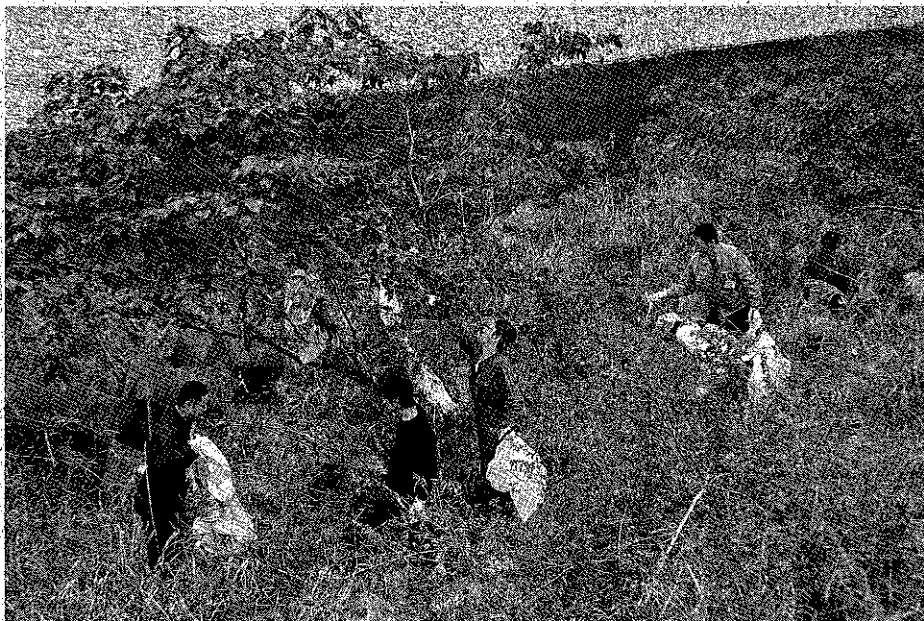
い」と希望を語った。

この後、いったん下流に移動し、水源地近くの木に引っかけた浮輪やビニール袋などを回収した後、堤防を上流側に歩きながら、1きほどの区間で、たばこの吸い殻やプラスチック製のゴミ、ペットボトルなどを拾った。中には、何かの部品と思われるガラス片なども見つかった。

この後、銚子川をまたぐ吊り橋や川岸から流れを眺め、水の美しさをあらためて実感。キャンプイン海山では「くき漬

け」を使ったピザなどを味わい、地域の魅力や課題などに理解を深めた。同社の尾崎史道社長は「普段は会社の周囲をや

っているが、自然を守ることに役立ち、地域に少しでも貢献できれば」と取り組みへの思いを買っていた。



台風時の出水で枝に掛かったゴミを取った